

町の将来像に向かって、順調に折り返し

—前期基本計画最終年度の決算審議—

9月定例会 (9/10～26…17日間)

[本会議] 9/10・26…議案審議
9/11・12…一般質問
9/19・20…決算審議
[委員会] 9/13…総務経済 9/14…文教厚生



1 寄居北條まつり

第50回の記念大会として前夜祭・本祭と2日間にわたり開催した。大福御前に光をあてた演出や北条氏ゆかりの地から集結したご当地グルメ等の新たな企画を盛り込んで行われた。

2 障害者交流センター

旧熊谷保健所寄居分室の建物を埼玉県から買い受け、障害者交流センターの開設に向けて、交流室等の施設改修工事や備品を整備した。

3 バリアフリー対策

平成19年度に着手した寄居駅バリアフリー化は、23年度にJR東日本が行った駅構内エレベーター設置で、計画していたすべての工事が完了した。

4 特産品開発

既存農産物の特産化や、新たな特産品の開発を手がける農産物加工研究会、エキナセアの生産組織に対して支援を続け、経営の安定化を図った。

5 おもてなし研究グループ

来庁者に対し庁内におけるおもてなしを一層向上させるため、若手職員によるおもてなし研究グループを発足。町民の目線に立った役場周辺公共施設案内図を作成するなど研究活動に取り組んだ。

一般会計は3年連続100億円超規模

平成23年度一般会計予算は、①寄居に満足して住めるまちづくり、②親身になって応援・協力、③ひかり輝く、観光・ブランドタウンの実現の各事業を重点施策に掲げ、最終年度を迎えた「第5次寄居町総合振興計画基本構想・前期基本計画」に基づく諸施策・諸事業を推進しました。

一般会計では、歳入合計は前年度比2.0%減の105億2979万円、歳出合計は前年度比1.9%減の100億5411万円となり、3年連続で歳入・歳出とも100億円を超える決算額となりました。

平成23年度 決算認定

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の寄居町での金の収支（決算）について審議します。今回は、この平成23年度決算6議案を含め、平成24年度補正予算など23議案について審議・審査が行われました。（審議の結果と議員ごとの賛否内訳は19ページを参照）

平成23年度一般会計決算に対する討論

賛成です

討論

福祉・子育て・教育の充実に向けた実践を評価

大平久幸議員

厳しい経済環境のもと、歳入総額で105億円を確保したことは評価できる。歳出では、寄居駅南中央通り線の側溝整備、寄居駅構内エレベーター設置事業に補助金交付を行い、高齢者福祉の充実・こども医療費給付を拡大、保育料は第3子を無料等、子育て世帯の支援を行い、保育所や小中学校の教育環境整備で教育の充実についても「親身になって応援・協力」を実践している。

反対です

討論

同和行政の解消で真に平等なまちづくりを

田母神節子議員

若い人口が増えることが第一。そのためには働く場所・低家賃住宅・子育てしやすい・税金が安いこと。また、熟年層の力を町政に発揮してもらおう。コミュニティが充実した安心な町であること。同和行政のない民主主義の息ついたらまちづくりが必要である。一日も早い廃止宣言で真に平等・対等の関係で明るいまちづくりを進め、信頼関係を深め、ひかり輝く観光・ブランドタウンの実現が可能になる。

